



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月15日

上場会社名 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド 上場取引所 東
 コード番号 7829 URL <http://www.samantha.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 和正
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 菅原 隆司 (TEL) 03(5412)8193
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日 配当支払開始予定日 平成25年11月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	13,466	△0.2	700	127.4	808	219.5	424	—
25年2月期第2四半期	13,497	△9.0	307	△33.8	253	△43.4	8	△97.3

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 393百万円(—%) 25年2月期第2四半期 △120百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	1,202 18	—
25年2月期第2四半期	25 48	—

(注) 当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	17,643	8,364	46.8
25年2月期	14,606	8,112	54.7

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 8,256百万円 25年2月期 7,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	800 00	—	800 00	1,600 00
26年2月期	—	400 00			
26年2月期(予想)			—	400 00	800 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年2月期の年間配当金については、平成25年6月1日付の普通株式1株を2株とする株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	9.2	1,850	84.4	1,900	102.1	800	—	2,266 55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年6月1日付の普通株式1株を2株とする株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年2月期2Q	352,960株	25年2月期	352,960株
26年2月期2Q	—株	25年2月期	—株
26年2月期2Q	352,960株	25年2月期2Q	352,960株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(その他特記事項)

当社は、平成25年4月15日及び5月22日開催の取締役会決議に基づき、平成25年6月1日を効力発生日として普通株式1株を2株とする株式分割を実施いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の積極的な経済・金融政策に対する期待感から円安・株高が進行し、景況感には改善の動きが見られたものの、実態経済の回復までには至っておらず、雇用・所得環境は厳しい状況が続くなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な関連業界である百貨店を含む小売業界におきましては、景気回復の期待感を背景に個人消費の持ち直しの動きがみられるなど、全般的に堅調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、「良い人、良い場所、良い商品、良い宣伝」の追求を事業戦略にかかげ、効果的な店舗展開と積極的なプロモーション活動及び商品戦略などを展開してまいりました。

・店舗展開について

バッグ事業においては、平成25年4月26日に大阪駅北側に開業した話題性の高い大型複合施設であるグランフロント大阪に「サマンサタバサデラックスプラス グランフロント大阪店」、大阪南部の新しいランドマークであるあべのハルカス近鉄本店に「サマンサタバサ プチチョイスプラス あべのハルカス近鉄本店」を出店するなど合計10店舗を展開いたしました。

ゴルフ事業においては、日本最大級のゴルフ売場として有名な名古屋松坂屋に「U 2 5 & N o . 7 サマンサタバサ 名古屋松坂屋店」を出店し、新宿の小田急百貨店に「U 2 5 & N o . 7 サマンサタバサ 新宿小田急ハルク店」、阪急うめだ本店に「U 2 5 & N o . 7 サマンサタバサ 阪急うめだ本店」を出店しました。さらに宮崎県の国際リゾート施設であるフェニックス・シーガイア・リゾート内にも「サマンサタバサ トム・ワトソンゴルフコース店」を出店し、サマンサタバサのバッグとゴルフアパレルの複合店舗という新業態を展開するなど合計3店舗を出店いたしました。

アパレル事業においては、「リッチミーニューヨーク 横浜タカシマヤ店」や「スウィングル 阪急うめだ本店」を出店いたしました。また、アウトレット事業においても、成田空港からもアクセスが便利な大型アウトレット施設である酒々井プレミアム・アウトレットに「サマンサタバサ ネクストページ酒々井店」を出店いたしました。その結果、サマンサタバサグループ合計で16店舗を出店いたしました。

さらに、旗艦店である「サマンサタバサ D E L U X E 表参道 G A T E S 店」ではリニューアルを行い、ホログラムによる立体的なビジュアルを使った最新のディスプレイを店内に設置するなど、C M と連動した店舗展開を推進いたしました。

・プロモーション活動について

バッグ事業においては、「Samantha Thavasa × カワイイ × Art」の融合をテーマとして、若手クリエイターが描き出す12か月の季節や行事に合わせた12種類のアートビジュアルに、世界で最も活躍しているファッションモデルの1人である「ミランダ・カー」が出演する「Samantha Thavasa 2013CM」の放映を行ってきました。

また、「ファッションと音楽の融合」をテーマに、板野友美さんの4 t h シングル「1 %」と連動したスペシャルコラボレーションCMとして、板野友美さんと、女優やボーカリストとして世界的にも有名な「テイラー・モムセン」が、ファッションの聖地であるニューヨークのソーホーで撮影した「Samantha Vega × 板野友美 loves テイラー・モムセン in NEW YORK」のCM放映も行いました。

ジュエリー事業においては、「すべての女性に華やかな輝きと幸せを」をテーマとして、サマンサミューズの蛸原友里さん、山本美月さん、土屋巴端季さん、板野友美さんが出演するサマンサタバサのジュエリーブランド「Samantha Tiara」「SAMANTHA SILVA by Samantha Tiara」のCM放映を行いました。

アパレル事業においては、当社100%子会社である株式会社バーンデストジャパンリミテッドのアパレルブランド「WILLSELECTION」の初となるCM放映も行い、大人気アイドルグループAKB48の島崎遥香さん、菊地あやかさんが出演し、「女性であることを楽しむ、ファッションを楽しむ」をコンセプトに、商品やブランドの魅力を発信いたしました。また、新たに当社グループとなった株式会社ラ・エストの創立35周年を記念し、同社の主力ブランド「L'EST ROSE」と、人気女性ファッション誌「JJ」、「Ray」、「An e C a n」、「美人百花」とコラボレーションを行ったCMも放映しました。

さらに、ゴルフ事業においては、LPGA公認女子プロトーナメント「サマンサタバサ ガールズコレクション・レディーストーナメント2013」を平成25年7月19日から21日までの3日間、茨城県のイーグルポイントゴルフクラブで開催しました。当大会には、サマンサタバサ所属女子プロゴルファーである香妻琴乃プロ、堀奈津佳プロ、山村彩恵プロ、「No 7 Samantha Thavasa」ウェア契約の原江里菜プロ、サマンサタバサ契約女子プロゴルファー青木瀬令奈プロ、嶋田江莉プロら、トッププロが参加しました。また、「ファッションとゴルフの融合」をコンセプトに、サマンサミューズによるスペシャルイベントや、スペシャルライブなどを開催し、3日間の合計で約1万6千人の方にご来場いただきました。この大会は来場者数の多さもさることながら、男性ギャラリーの割合が大きい女子プロトーナメントが多い中で、約1/4が女性ギャラリーで占められていることも大きな特徴の一つであり、当社のゴルフ事業のポテンシャルや期待の高さを感じております。

・商品戦略について

各ブランド事業において2013年春夏コレクションの新作を販売し、多様化するファッションニーズに応える商品を積極的に展開してきました。バッグ事業においては、注目商品である「サマンサアゼル」「サマンサヴェール」「パナマアリッサ」「サマンサエフィー」「サマンサフロラ」を、ジュエリー事業においては、「フラワーレターズ」「フラワーインフィニティー」を中心に、CM・雑誌・店頭・WEBなどと連動したプロモーション戦略が奏功し、売上の拡大につなげることができました。特に、平成25年3月に当社のジュエリーブランドである「Samantha Tiara」については、消費者ニーズに対応した高い商品力が評価され、ファッション業界に貢献した企業・団体・個人に贈られる「第31回（2012年度）百貨店バイヤーズ賞」（織研新聞社主催）を受賞いたしました。さらに、当第2四半期連結累計期間におきましては「13年春夏百貨店バイヤーズ賞」（織研新聞社主催）にも選出されました。

さらに、商品の魅力をより高めるコラボレーションも継続して行い、当第2四半期連結累計期間においては、雑誌とのコラボレーションによるバッグや、人気モデル・スタイリストがデザインしたシューズを発売いたしました。

総合オンラインショッピングサイトAmazon.co.jpのKindleストアにおいて、サマンサタバサ人気シリーズである「サマンサマリッサ」、「サマンサフロラ」の電子書籍リーダーKindleの専用カバーを販売いたしました。

また、平成25年6月より無料で通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリであるLINE

でも公式アカウントの提供を開始しました。さらに8月には数量や時間を限定した商品を配信する「LINEシークレットセール」を通じてLINEとのコラボレーションバッグも販売いたしました。ブランド情報を受け取ることでできる「友だち」の登録も約1ヵ月で40万人超を獲得することができました（平成25年10月15日現在「友だち」登録439万人超）。LINEは、ユーザー数が全世界に2億3,000万人、日本でも4,700万人を超えており、今後新たなサマンサグループの情報発信ツールとして積極的に活用していきます。

また、当社は、平成25年6月に株式会社ラ・エストの発行済株式の全部を取得し、当社の子会社とするための株式譲渡契約を締結いたしました。今回、当社が株式会社ラ・エストを子会社化することで、当社の100%子会社である株式会社バーンデストジャパンリミテッドが展開しているアパレル部門の事業拡大につながり、ひいては、当社グループ企業価値の向上につなげてまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は134億66百万円（前年同期比0.2%減）、売上総利益は89億61百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は7億円（前年同期比127.4%増）、経常利益は8億8百万円（前年同期比219.5%増）、四半期純利益は4億24百万円（前年同期は8百万円の利益）となりました。

（2）連結財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

総資産は176億43百万円であり、前連結会計年度末と比較して30億37百万円増加しております。主な増加要因は、連結子会社の増加に伴う受取手形及び売掛金、商品及び製品並びにのれんが増加したことなどによるものであります。

（負債）

総負債は92億78百万円であり、前連結会計年度末と比較して27億85百万円増加しております。主な増加要因は、連結子会社の増加に伴う支払手形及び買掛金並びに長期借入金が増加したことなどによるものであります。

（純資産）

純資産は83億64百万円であり、前連結会計年度末と比較して2億52百万円増加しております。主な増加要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、10百万円増加し、32億9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1億10百万円（前年同四半期は2億5百万円の資金の増加）となりました。この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益8億48百万円、減価償却費2億47百万円などの収入要因が、売上債権の増加額2億81百万円及びたな卸資産の増加額6億88百万円などの支出要因を上回ったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は9億53百万円（前年同四半期は60百万円の資金の減少）となりました。この主な内訳は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出11億66百万円などの支出要因が、関係会社株式の売却による収入2億97百万円などの収入要因を上回ったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は8億45百万円（前年同四半期は1億77百万円の資金の増加）となりました。この主な内訳は、長期借入れによる収入16億円などの収入要因が、長期借入金の返済による支出7億35百万円などの支出要因を上回ったことなどによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年9月30日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。今後、連結業績予想数値の修正の必要が生じた場合には、適時適切に開示を行ってまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,198,619	3,209,017
受取手形及び売掛金	1,852,066	2,551,429
商品及び製品	4,334,540	5,616,497
仕掛品	—	27,388
原材料及び貯蔵品	172,425	275,330
その他	726,419	739,487
貸倒引当金	△628	△1,538
流動資産合計	10,283,443	12,417,612
固定資産		
有形固定資産	1,078,601	1,153,337
無形固定資産		
のれん	34,229	955,892
その他	238,736	244,542
無形固定資産合計	272,966	1,200,435
投資その他の資産		
差入保証金	2,043,914	2,265,307
その他	927,317	606,784
投資その他の資産合計	2,971,231	2,872,092
固定資産合計	4,322,799	5,225,864
資産合計	14,606,242	17,643,477
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,365,671	2,130,453
短期借入金	600,000	901,350
1年内返済予定の長期借入金	1,259,000	1,021,188
未払法人税等	315,467	330,122
賞与引当金	144,000	136,561
その他	999,892	1,669,178
流動負債合計	4,684,030	6,188,854
固定負債		
長期借入金	1,709,500	2,875,547
その他	100,264	214,526
固定負債合計	1,809,764	3,090,073
負債合計	6,493,795	9,278,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,132,600	2,132,600
資本剰余金	2,252,600	2,252,600
利益剰余金	3,642,182	3,925,318
株主資本合計	8,027,382	8,310,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,338	15,071
為替換算調整勘定	△44,766	△69,453
その他の包括利益累計額合計	△37,427	△54,382
少数株主持分	122,492	108,413
純資産合計	8,112,447	8,364,549
負債純資産合計	14,606,242	17,643,477

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）
売上高	13,497,312	13,466,644
売上原価	5,103,901	4,505,510
売上総利益	8,393,410	8,961,133
販売費及び一般管理費	8,085,520	8,261,103
営業利益	307,889	700,029
営業外収益		
受取利息	3,625	594
受取配当金	7	8
為替差益	—	71,885
償却債権取立益	—	51,900
補助金収入	—	2,302
その他	6,621	1,612
営業外収益合計	10,254	128,302
営業外費用		
支払利息	23,618	19,391
為替差損	20,465	—
持分法による投資損失	18,575	—
その他	2,437	527
営業外費用合計	65,097	19,919
経常利益	253,046	808,413
特別利益		
関係会社株式売却益	—	105,570
負ののれん発生益	—	41,232
特別利益合計	—	146,802
特別損失		
固定資産除却損	13,546	80,596
関係会社整理損	111,425	—
その他	9,236	26,266
特別損失合計	134,207	106,862
税金等調整前四半期純利益	118,838	848,353
法人税、住民税及び事業税	140,499	211,565
法人税等調整額	50,912	234,556
法人税等合計	191,412	446,122
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△72,573	402,231
少数株主損失（△）	△81,565	△22,088
四半期純利益	8,992	424,319

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△72,573	402,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,241	7,732
為替換算調整勘定	△46,919	△16,677
その他の包括利益合計	△48,160	△8,945
四半期包括利益	△120,734	393,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,510	407,365
少数株主に係る四半期包括利益	△90,223	△14,079

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	118,838	848,353
減価償却費	318,395	247,930
のれん償却額	8,311	1,222
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△90	307
受取利息及び受取配当金	△3,632	△603
為替差損益(△は益)	—	△12,844
支払利息	23,618	19,391
持分法による投資損益(△は益)	18,575	—
固定資産除却損	13,546	80,596
関係会社整理損	111,425	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△105,570
負ののれん発生益	—	△41,232
売上債権の増減額(△は増加)	△198,143	△281,467
たな卸資産の増減額(△は増加)	△176,130	△688,409
仕入債務の増減額(△は減少)	131,960	45,402
その他	116,027	202,827
小計	482,703	315,905
利息及び配当金の受取額	3,632	603
利息の支払額	△25,062	△19,389
法人税等の支払額	△256,221	△186,469
営業活動によるキャッシュ・フロー	205,051	110,649
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,081	—
定期預金の払戻による収入	59,081	600
有形固定資産の取得による支出	△326,555	△240,576
無形固定資産の取得による支出	△26,869	△13,341
投資有価証券の取得による支出	△3,900	△4,000
関係会社株式の売却による収入	—	297,332
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,166,707
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	418,568	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△11,257	—
敷金及び保証金の差入による支出	△132,772	△66,837
敷金及び保証金の回収による収入	12,193	267,217
その他	△39,671	△26,954
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,263	△953,268
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,180,000	121,350
長期借入れによる収入	—	1,600,000
長期借入金の返済による支出	△939,000	△735,105
少数株主からの払込みによる収入	108,694	—
配当金の支払額	△143,480	△140,421
その他	△28,859	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	177,354	845,823
現金及び現金同等物に係る換算差額	△69,006	7,193
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	253,136	10,398
現金及び現金同等物の期首残高	3,412,667	3,198,619
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,665,803	3,209,017

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、「ファッションブランドビジネス」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。